



## 学校教育目標「自立・協働・創造」～ ジョン万スピリットで未来を切り拓く！～

### ◎「令和7年度卒業証書授与」式無事終了

温かな陽射しの中、本年度の卒業証書授与式を、来賓及び保護者の皆様の参列を得て開催することができ、無事59名の生徒が清水中学校を巣立っていきました。保護者の皆様、地域の皆様、関係機関の皆様よりいただきましたたくさんのご支援に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。



### < 式辞 >



黒潮香る土佐清水の海から、この清水ヶ丘に吹いてくる風が、春の匂いを届けてくれるようになりました。

今日、3月11日は、東日本大震災が起こった日です。今年で、15年が経ちます。犠牲になられた方々に深い哀悼の意を表しますとともに、更なる復興を心からお祈りしたいと思います。そして、こうしてみなさんの卒業を祝うことができるのは、決して当たり前のことではなく、とても幸せなことなのだと思っております。

本日、土佐清水市教育委員会 杉本教育委員 様を始めとする来賓の皆様方、そして卒業生のご家族の皆様のご臨席を得て、令和7年度 土佐清水市立清水中学校 卒業証書授与式を挙行できますことに、心より御礼申し上げます。

保護者の皆様、お子様の義務教育9年間からのご卒業を心よりお祝い申し上げます。思春期を迎え、様々な悩みや葛藤に揺れ動く多感な時期を、お子様の成長を温かく見守り続けながら、ともに乗り越えて来られたことに対し敬意を表します。また、地域の皆様には、いつも子どもたちを見守っていただき、温かいご声援をいただきました。

保護者の皆様、地域の皆様からいただきました本校の教育活動に対するご理解と、多くのご支援に対しまして、この場をお借りして、改めて感謝申し上げます。

さて、59名の卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。清水中学校全職員、そして在校生とともに心よりお祝い申し上げます。

この3年間、「自立・協働・創造 ～ジョン万スピリットで未来を切り拓く！～」の教育目標のもと、授業に、行事に、部活動に、さまざまな経験を重ね、心身ともにたくましくなると、とても嬉しく思います。

1、2年生の頃は、何をやるにも、どこか自信なげで、一生懸命さを見せることに消極的であったり、楽しいことや楽な方に流れたりする様子も見られていましたが、今年度、最終学年に進級してからの1年間で、本当に大きく成長してくれました。

特に、9月に行われた体育祭や、10月に行われた文化祭では、共通のスローガン、「もえもえ青春、楽しく元気に」を掲げ、笑顔弾ける行事を創り上げてくれました。力の限り、声を出し、走り、踊った応援合戦。心を一つにして、体育館中に響き渡らせた合唱コンクールの歌声。「青

春」という言葉にふさわしい、真剣なまなざしと、輝く笑顔。そして、勝負が決まった瞬間には、多くの人の目に、涙が輝いていました。仲間とともに、本気で取り組んできたからこそ、流せた涙だと思います。納得がいけないときは、臆せずぶつかり合い、思いを伝え合えるようになったみなさんの姿を見て、感動に胸が熱くなりました。

もう一つ、みなさんにお礼を言いたいことがあります。

それは、みなさんが、全校集会で、私の話をいつも真剣に聞いてくれたことです。私の方を見て、うなずきながら、そして、時にはにこにこ微笑みながら、私が伝えることを受け止めてくれましたね。その明るさ、優しさに、私はとても助けられました。本当に、ありがとう。

そんなみなさんの前で話せるのも、今日が最後です。学び舎を巣立つみなさんに伝えたいこと、お願いが二つあります。今日も、しっかり聞いてくださいね。

一つ目は、ジョン万スピリットを忘れないでいてほしいということです。

これからみなさんが歩み出そうとしている社会は、日々目まぐるしく進化し、予測不能であると言われていきます。少子高齢化、地球温暖化、南海トラフ巨大地震、戦争・・・、様々な課題に立ち向かい、多様な他者と協働して、より良い解決方法を探していかなければならないのです。それは、簡単なことではありません。でも、困難に直面した時こそ、自分の力が伸びる時だと、前向きにとらえることを忘れないでください。この清水中学校で、みなさんは、いつもジョン万スピリットを胸に、あらゆる課題に立ち向かってきました。「チャレンジ精神」を持って、「自ら判断し、他人のせい」にせず、「決してあきらめない」。自分の考えをしっかりとって、そして、「自分」を信じて、人生という道を歩いていってください。

二つ目は、命を大切にすることです。

あきらめないでほしいとは言っても、これから先の人生、楽しいことばかりが待っているわけではなく、大きな壁が行く手を遮ることもあるでしょう。辛く悲しい出来事に、心が折れそうになることもあるかもしれません。そんな時は、立ち止まってもいいし、後ろを向いてもいい。安全な場所に閉じこもってもいい。大切な命を守ること。それを一番に考えてください。

みなさんは、決して一人ではありません。みなさんのことを見ている人が、必ずいます。支えてくれる家族や、地域の人たち、私たち教職員も、ずっとみなさんを応援しています。

道に迷い、悩み、くじけそうになったとき、そして、自分の原点に立ち返りたいと思ったとき、いつでも清水中学校に帰ってきてください。

卒業生のみなさんの門出にあたり、今後、ますますの成長と活躍を心から願い、式辞といたします。

令和8年3月11日 土佐清水市立清水中学校長 門田 直子